

滋賀県立大学生協 下宿生交流会



[新学期]

取り組み概要

日時：4/4 10:00~12:20、14:00~16:20
場所：大学構内 A3棟-301講義室
参加者数や組合員の反応：110名程度の参加者が参加した。下宿先が近い、もしくは下宿先が同じ新入生の交流が見られた。

背景や概要：4月から下宿を始める新入生に向けて、下宿をする上で知っておいた方がよい情報を先輩学生から伝え、新入生同士のコミュニティ形成を行っていた。

下宿生活を安心して走り出せるように

POINT.1

下宿生活に欠かせない情報を伝える



下宿生交流会では、実際に下宿生活をしている先輩学生の声が届けられていました。下宿生の先輩学生にアンケートを取り、そこで得た情報をもとにスライドを作成することで、必要な情報を正確に伝えることができていました。

よく使うスーパーやよく買うもの、冷蔵庫に常備している調味料など、下宿生活にマストなものを知ることができるようになっていました。春から安心して下宿生活をスタートできそうです。

POINT.2

交流会後の繋がりづくり

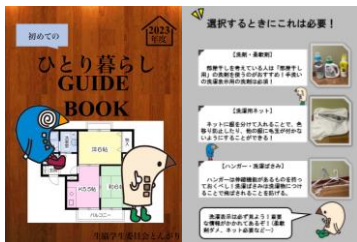
下宿生交流会中にはSNSを交換する時間がありました。新入生同士がSNSを交換することで、下宿生交流会が終わった後にも気軽に話せる繋がりづくりになっていました。

グループリーダーの学生委員がいなくても、新入生同士が話せており、下宿生活が始まった時に頼れる友達をつくることができていました。ここで築いた関係が、今後に繋がるといいですね。



POINT.3

ひとり暮らしGUIDE BOOKの活用



下宿生交流会に参加した新入生に「ひとり暮らしGUIDE BOOK」を配布していました。家にあると便利なものや、大学付近のスーパー、下宿生の心得などが紹介されており、先輩学生の声が集まった一冊になっています。

冊子を配布することで、「何を買い揃えよう」「何から始めたらいいかわからない」など、そんな下宿生の不安や悩みに寄り添うことができていました。